（ 新規 ）

2027年度　公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
奨学生応募書類チェックリスト＜医薬系＞

No.27 － S

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

（大学推薦：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 大学）

カタカナ	
氏名	
生年月日	西暦　　年　　月　　日生

チェック欄		提出書類
1		＜医薬系＞手書きした奨学生願書の原本　（当財団指定用紙を使用すること） ※黒インク又は黒ボールペンで記入のこと（消せるペン・青インクのペンは使用不可）。タブレット端末等で記入した願書は不可。記入にあたりChatGPT他の生成AIツールを一切使用しないこと 【該当者のみ】日本語訳は両面不可。様式は問わないが願書のページごとに分けて作成すること
2		推薦状　※工学系は工学用の推薦状を使用してください。 （推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。英語の推薦状には日本語訳を添付すること）[注1]
3		写真1枚　（カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のもの、4.5×3.5cmを願書に貼付のこと。アプリなどで加工・修正した写真は不可）
4		成績証明書　（原本またはコピー） （履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと[注2]。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること）
5		在学証明書　（日本語で書かれた募集開始日以降のもの、コピー不可）
6		住民票の写し（募集開始日以降のもの） （コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されているもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可。外国人登録原票記載事項証明書の原本及びコピー不可。在留カードのコピー不可）
7		願書及び成績証明書のコピー　4セット （写真貼付の願書1枚目のみカラーコピー、ホチキス留めはしない）
8		【該当者のみ】論文のコピー　4セット （出版済の論文がある人のみ。両面印刷でホチキス留めすること。最初のページの自分の名前に赤ペンで下線を引き、右上には受付番号と、カタカナで名前を書くこと）
9		【該当者のみ】他の奨学金及び研究助成金の支給団体名、期間、使途、金額等を証する写し （2027年4月～2028年3月にかかる期間で他の奨学金及び研究助成金を受給中、又は受給が決定している場合のみ）
10		大学担当部署のチェックは受けましたか？また、指定の5ヵ所に受付番号（成績証明書には右上に受付番号とカタカナで名前も記入すること）は書きましたか？加えて推薦状の入った封筒にも受付番号を書いてください。

注1・・ 推薦者は、在籍校で研究指導に責任をもつ方のみ。願書の1ページ及び「研究についての追加情報」のページの指導教員と同じであること。

注2・・ 在籍校の成績証明書が合格・不合格のみの場合、または修了まで評価が出ない場合は、卒業した大学の直近の成績証明書を添付すること（母国の成績証明書可）。

No. 27 - S

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

奨 学 生 願 書
＜医薬系＞

写真貼付のこと
（4.5×3.5cm）
カラー・胸から上を近影
6ヵ月以内のもの
アプリ等で修正・加工した写真は不可

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
代表理事　大塚 一郎　殿

年　月　日

貴財団の奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

①	フリガナ		性別	年齢	満　　歳
	氏名		男	生年月日	西暦　　年　月　日
	アルファベット表記				
	母国語表記		女	国籍	

氏名（アルファベット大文字）

Family name/Surname（姓）　，　First name（名）　Middle name

② 分野（該当するものに○を記入）	医学 ・ 歯学 ・ 薬学 ・ 工学

③ 所属機関	大学院名／機関名	学部・研究科	学科・専攻
	学年（該当する課程に○を記入）	学籍番号	指導教員名
	博士前期（修士に該当） 博士後期（博士に該当） （4年制/5年制）博士課程　年		
	日本への入国年月	入学年月	卒業・修了予定年月
	年　月	年　月	年　月

④ 学歴及び職歴（兵役も含む）	年	月	～	年	月	学歴（母国の最終学歴から記入）・職歴
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			

⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	外国人留学生担当部署	担当者名
	課・センター	（フリガナ：　　）
	担当部署（担当者）の連絡先電話番号	担当者メールアドレス
	ー　　ー	

⑥ 本人現住所	〒　　－		
	最寄り駅（徒歩圏内に駅がない場合は最寄りバス停）	線　　駅（バス停）	
	自宅 ・ 学寮 ・ アパート ・ その他〔　　〕		
	携帯電話番号	電話番号（固定電話）	
	―　　―	TEL.　　―　　―	
	Email （PC） ※ 読みやすく書いてください		
⑦ 母国の住所	〒　　－		
	TEL.　　―　　―		

⑧家族構成（父母・配偶者・子・兄弟姉妹）	氏　名	続柄	年齢	勤務先/学校名	自宅住所
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.

⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入	
	配偶者の奨学金受給の有無	有 ・ 無
	支給団体名： （月額・年額　　円 / 受給期間：　　年　　月 ～　　年　　月）	
	給与（アルバイト等も含む）	円/月 （職種：　　）

⑩ 生活費	家賃	生活費（食費・光熱費等）※授業料・家賃は除く	
	円/月	円/月	
⑪ 収入等	月収入（アルバイト、TA、RA等）		
	有 ・ 無	円/月	（職種：　　） （労働時間：　　時間/週）
	仕送り		
	有 ・ 無	円/月	（仕送り人続柄：　　）
	現在受給中の奨学金		
	有 ・ 無	名称： 月額・年額　　円（受給期間：　年　月 ～　年　月）	
	その他収入（児童手当、貯金の取り崩し等もここに書くこと）		
	円/月 （内容：　　）		
⑫ 授業料減免	現在の減免状況	申請中 ・ 確定（全額 / 半額 / ＿＿＿%） ・ 不合格 ・ 申請していない 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし	
	授業料	円/年	今年度の自己負担額　円
	来年4月～の状況	申請予定（　月） ・ 申請中 ・ 確定（全額 / 半額 /　%） ・ 不合格 申請予定なし ・ 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし	
⑬ 学業面	週に何日授業がありますか？	（ 対面・オンライン・両方 ）　日	
	主に授業がある/研究をするのはいつですか？	昼間 ・ 夜間 ・ 半々	
	週に何日通学しますか？（授業・研究を含める）	日	
	土日祝は学校/研究室へ行きますか？	毎週 ・ 時々 ・ 休み	
	平均して何時～何時まで大学（研究室）にいますか？	時 ～　時	
	現在受給中の研究助成金		
	有 ・ 無	名称： 円（受給期間：　年　月 ～　年　月）	
	過去の研究助成金受給実績　名称 / 月額・年額（○で囲む） / 受給期間		
	名称： （月額・年額　　円 / 受給期間：　年　月 ～　年　月）		
⑭ 現在の奨学金・研究助成金併願状況	申請先 / 申請中・確定 / 月額・年額（○で囲む）		
	名称： （申請中・確定 / 結果発表：　月　日） （月額・年額　　円 / 受給期間：　年　月 ～　年　月）		
	名称： （申請中・確定 / 結果発表：　月　日） （月額・年額　　円 / 受給期間：　年　月 ～　年　月）		
⑮ 過去の奨学金受給実績	名称 / 月額・年額（○で囲む） / 受給期間		
	名称： （月額・年額　　円 / 受給期間：　年　月 ～　年　月）		
	名称： （月額・年額　　円 / 受給期間：　年　月 ～　年　月）		

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

［医薬系］

推　薦　状

被推薦者名

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

年　　月　　日

（ 推薦者 ）

大学院名
（機関名）

研究科　　講座・分野

役職

氏名
（ご署名）　　印

電話番号　　Email

※講座、分野がない場合は空欄にしてください。
※氏名（ご署名）欄は推薦者が自筆でご記入ください。代筆・タイプの場合は選考対象外とします。
※推薦状は必ず推薦者自らが密封し、被推薦者または奨学金担当者にお渡しください。

推　薦　理　由

（推薦者との関係とその期間、人物・将来性についての所見、被推薦者が取り組むテーマの意義等）

※具体的にご記載ください。推薦理由が抽象的過ぎる場合は選考対象外になることがございます。

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷（コピー可）の1部を当財団事務局まで送付してくださいますようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。

［工学系］

推　薦　状

被推薦者名

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

年　　月　　日

（ 推薦者 ）

大学院名
（機関名）

研究科　　講座・分野

役職

氏名
（ご署名）　　印

電話番号　　Email

以下をご確認の上、チェック☑してください。

☐ 被推薦者の研究内容が医学または薬学に関連していること、実際に連携・応用を目指していることを認め、推薦します。

※講座、分野がない場合は空欄にしてください。
※氏名（ご署名）欄は推薦者が自筆でご記入ください。代筆・タイプの場合は選考対象外とします。
※推薦状は必ず推薦者自らが密封し、被推薦者または奨学金担当者にお渡しください。
※博士課程の学生を推薦する場合、推薦者は学位取得の際、主査予定者としての責任を持つ方に限ります。

推　薦　理　由

（推薦者との関係とその期間、人物・将来性についての所見、被推薦者が取り組むテーマの意義等）
※具体的にご記載ください。推薦理由が抽象的過ぎる場合は選考対象外になることがございます。

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷（コピー可）の1部を当財団事務局まで送付してくださいますようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。

⑯ 将 来 の 抱 負

● 将来、社会でどのような役割を担いたいか書いてください。

句読点を含めて400字以内で総論的にまとめること。（字数制限を超えたものは審査の対象としません）

200

400字

● 日本と母国の架け橋としてどのようにリーダーシップを発揮したいかを書いてください。

⑰留学の目的	
⑱将来の抱負に対する現在の進捗度	
⑲2027年の目標	

⑳ 研　究　内　容

「研究内容」「研究室の中で具体的に自分が何をしているか」「来年1年間で研究テーマに対してどう貢献していくか」を書いてください。

1ページ目

研究タイトル

句読点を含めて800字以内で具体的にまとめること。

400

460字(次ページへ続く)

⑳ 研　究　内　容

2ページ目

600

※ 字数制限を超えたものは審査の対象としません。　800字

● 2026年11月から2028年3月までの期間で学会発表、論文投稿の予定があればそれぞれ箇条書きで記載してください。予定がない場合は「なし」と記載の上、提出のこと。予定の有無にかかわらず、右の欄に指導教員から確認の署名をもらうこと。このページの提出がない場合は選考対象外。

指導教員署名欄

＜発表の場合＞
応募予定の国内学会/国際学会、査読の有無、予定の発表タイトル、学会名、開催日、場所、口頭発表/ポスター発表を書いてください。

＜投稿済の論文が既にあり査読中の場合＞
和文誌/英文誌名、投稿日、全員の著者名（自分の名前に下線を引くこと）、論文タイトルを書いてください。（論文誌名は正式名称を書くこと、最後に「査読中」と書くこと）

＜これから論文の投稿を計画している場合＞
投稿予定の和文誌/英文誌名、投稿予定月、予定されている全員の著者名（自分の名前に下線を引くこと）、論文タイトルを書いてください。（論文誌名は正式名称を書くこと）
※国際学会、英文誌の場合は英語で書いてください。（和訳不要）

例1） 国内学会、査読あり、「発表タイトル」、第〇回〇〇学会、2027年2月、神戸、口頭発表

例2） The Journal of 〇〇, 2026 Dec, Author1/Author2/Author3, □□ of △△ Disease, Under Review

㉑ 過去1年の成果及び活動

過去1年間でどのような成果をあげたか書いてください。
（学会発表・論文投稿・社会貢献活動等を含む1年間の成果及び進展）
※句読点を含めて400字以内で具体的にまとめること。
※箇条書き不可。成果及び進展が乏しい人は応募できません。

200

400字

※ 字数制限を超えたものは審査の対象としません。

㉒ 学会発表、論文投稿等の実績

2026年11月までの実績をすべて記入してください。誌名等の詳細は下の詳細欄に箇条書きで書いてください。

※学術誌論文の場合は「著者名」「論文標題」「雑誌名」「巻」「最初と最後の頁」「発行年（西暦）」「査読の有無」「IF」「掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）」を書いてください。著者名が多数の場合は上位3名のみ記入し、著者の総数と申請者の順番を記載すること。

例）国内発表　口頭　3 回 / ポスター　5 回

1. 国内発表　口頭 ＿＿＿＿回 / ポスター ＿＿＿＿回
2. 海外発表　口頭 ＿＿＿＿回 / ポスター ＿＿＿＿回
3. 論文 掲載済　和文誌 ＿＿＿＿本 / 英文誌 ＿＿＿＿本
4. 論文 掲載決定　和文誌 ＿＿＿＿本 / 英文誌 ＿＿＿＿本

（論文、学会等の詳細）

㉓資格・特記事項等	日本語能力検定　　級（　　年　　月取得）	
	TOEICスコア　　点（　　年　　月取得）、TOEFLスコア　　点（　　年　　月取得）	

㉔　振込先	フリガナ									
	口座名義人									
	銀行・ゆうちょ銀行等の預貯金口座									
		銀行・信用金庫・信用組合							本店・支店・出張所	
	口座番号									

私は、奨学生願書に記入した内容および提出書類に虚偽のないこと、記入にあたりChatGPT他の生成AIツールを一切使用していないことを、ここに誓います。
また、本申請に関する個人情報を財団が事業の目的の範囲内で第三者に提供することに同意いたします。

署名：　　印

印鑑をお持ちの場合は押印してください。

※出願書類に不備・不明な点がある場合、記載内容に虚偽があった場合には、選考から除外します。
※採用後、記載内容に虚偽が発見された場合には、採用を取り消します。

☆記入上の注意☆

- 推薦状以外、応募者本人が日本語もしくは英語の手書きで記入すること。
  英語の場合、日本語訳を添付すること（両面不可。様式は問わないが願書のページごとに分けて作成すること）。
- 応募者が使用可能な言語で願書を記入すること（日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります）。
- 黒インク又は黒ボールペンで記入のこと（消せるペン・青インクのペンは使用不可）。
- 固有名詞はすべて正式名称とし、省略は一切しないこと。

なお、記入いただいた情報は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。

過去に奨学生だった人は、過去の受付番号をすべて書いてください。
例：No.26-S1、No.25-S2、No.24-S3

学 生 願 書
＜医薬系＞

※受付番号を記入
番号がないものは選考外

（継続申請者 No.26 － S　　）半年間の継続希望

写真貼付のこと

願書を書いた日付を西暦で書いてください。

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
代表理事　大塚　一郎　殿　　月　　日

貴財団の奨学生として採用を希望します

秋入学、来年の秋卒業の2026年度奨学生※で、半年間の継続を希望する人はここに〇を付けてください。
※標準修業年限内に修了し、かつ進学しない人のみ対象

①	フリガナ			歳
	氏名		男	
	アルファベット表記			日
	母国語表記		国籍	
	Fa	，First name（名）　Middle name		

ここに書いたフリガナを申請システムの基本情報入力のフリガナ欄に入力してください。

応募時の、（数え年ではなく）満年齢を書いてください。

母国語で自分の名前を書いてください。

該当する研究分野に〇をつけてください。

② 分野（該当するものに〇を記入）	医学　・　歯学　・　薬学　・　工学			
③ 所属機関	大学院名／機関名	学部・研究科	学科・専攻	
	学年（該当する		指導教員名	
	博士前期（修士に該当） 博士後期（博士に該当） （4年制/5年制）博士課程			
	日本への入国年月	入学年月	卒業・修了予定年月	
	月	年　月	年　月	

留学のために最初に入国した年月を書いてください（一時的に帰国して再入国した入国年月ではありません）。

④ 学歴及び職歴（兵役も含む）	月	学歴（母国の最終学歴から記入）・職歴	
	～		

Q&Aの記入例を見て、空白期間がないように、母国の最終学歴から現在までの経歴を上から順に書いてください（日本語学校や職歴を含む）。

学部・研究科、学科・専攻も書いてください。

⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	外国人留学生担当部署	担当者名
	課・センター	（フリガナ：　　）
	担当部署（担当者）の連絡先電話番号	担当者メールアドレス
	―　　―	

⑥ 本人現住所	〒　　－		
	最寄り駅（徒歩圏内に駅がない場合は最寄りバス停）	線　　駅（バス停）	
	自宅　・　学寮　・　アパ	〕	

最寄りの駅の路線と駅名を書いてください。
自宅⇔駅が離れていて歩ける距離ではない人は、利用するバスの路線とバス停を書いてください。

⑦ 母国の住所	〒　　－	
	TEL.　　－　　－	

⑧家族構成（父母・配偶者・子・兄弟姉妹）

氏　名	続柄	年齢	勤務先/学校名	自宅住所
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.

⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入	
	配偶者の奨学金受給の有無	有　・　無
	支給団体名： （月額・年額　　円 / 受給期間：　　年　　月 ～　　年　　月）	
	給与（アルバイト等も含む）	円/月　（職種：　　）

⑩	生活費	家賃	生活費（食費・光熱費等）※授業料・家賃は除く
			円/月
⑪	収入等	レバイト、TA、RA等）	
		有 ・ 無	） 時間/週 ）
		有 ・ 無	）
		有 ・ 無	名称: 月額・年額　　年　月 ～　年　月）
		その他収入（児童手当、貯金の取り崩し等もここに書くこと）	
		円/月　（内容・　　）	
⑫	授業料減免	現在	ない
		来年4月～の状況	不合格 申請予定なし ・ 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし
⑬	学業面	週に何日授業がありますか？	（ 対面・オンライン・両方 ）　日
		主に授業がある/研究をするのはいつですか？	昼間 ・ 夜間 ・ 半々
		週に何日通学しますか？（授業・研究を含	日
		担当教員とは週に何回面談しますか？	回
		平均して何時～何時ま　研究室）にいますか？	時 ～　時
		有	～　年　月）
		過去の	／ 受給期間
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	
⑭	現在の奨学金・研究助成金併願状況	申請先 ／ 申請中・確定 ／ 月額・年額（○で囲む）	
		名称: （申請中・確定 ／ 結果発表:　月　日） （月額・年額　　円 / 受給　月）	
		名称: 日） （月額・年額　　円 / 受給期間　年　月 ～　年　月）	
⑮	過去の奨学金受給実績（当財団の実績も記入すること）	名称 ／ 月額・年額（　囲む） ／ 受給期間	
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	

家賃や授業料を除いた毎月の生活費を書いてください。

ここには毎月の収入と支出を書いてください。家賃や生活費を払っているのに収入がないなど、どのように生活費をまかなっているのか読み取れない場合は選考対象外です。貯金を取り崩して生活費にあてている場合は「その他収入」欄に書いてください。

現在と来年4月以降の減免状況を書いてください。あてはまるものがない場合は、空いているところに現状を書いてください。授業料には1年間の通常の授業料を、自己負担額には自分が負担する授業料（例：前期〇〇円、後期未定）を書いてください。自己負担額が未定の人は「未定」と書いてください。

どのように授業を受けているか〇をつけてください。

【経営系の申請者のみ】
研究テーマについて相談したり、指導をお願いしている指導教員や他の教員と、週に何回くらい面談するか書いてください。

過去に受給していた奨学金のうち、直近の奨学金を2つ書いてください。

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

㉑ 研究について、この1年の進捗と来年の研究計画

昨年からの進展、研究目標の達成状況、来年の研究計画※について、失敗したこと、難しかったことを含め具体的に書いてください。

※半年間の継続を希望する人は「修了までの研究計画」

1ページ目

研究タイトル

半年間の継続を希望する人は、昨年からの進展、研究目標の達成状況、修了までの研究計画について書いてください。

句読点を含めて800字以内で具体的にまとめること。（字数制限を超

。）

400

460字(次ページへ続く)

● 2026年11月から2028年3月までの期間で学会発表、論文投稿の予定があればそれぞれ箇条書きで記載してください。予定がない場合は「なし」と記載の上、提出のこと。予定の有無にかかわらず、右の欄に指導教員から確認の署名をもらうこと。このページの提出が場合は選考対象外。

指導教員署名欄

＜発表の場合＞
応募予定の国内学会/国際学会、 有無、予定の発表タイトル、学会名、開催日、場所、口頭発表/ポスター発表を書いてくださ

＜投稿済の論文が既にあり
和文誌/英文誌名、投 を書いてください。（論文誌

＜これから論
投稿予定の和 線を引くこと）、論文

※国際学会、英文誌

【医薬系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の予定がある人は、
それぞれ箇条書きで書いてください。
予定がない人は「なし」と書いてください。
予定の有無にかかわらず、必ず推薦状を書いていただいた指導教員（願書の1ページに書いた指導教員も同じであること）からサインをもらってください。このページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。

例1） 国内学会、査読あり、「発表タイ 、神戸、口頭発表

例2） The Journal of ○○, 2026 Dec, Author1/Author2/Author3, □□ of △△ Disease, Under Review

● 学会発表、論文投稿等の実績と予定

※学術誌論文の場合は「著者名」「タイトル」「雑誌名」「巻」「掲載ページ」「発行年（西暦）」「査読の有無」「掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）」を書いてください。著者が複数の場合は全員記入し、自分の名前に下線を引くこと。

※投稿済で結果が未定のものについては、投稿した年月を記載し、（投稿中）と明記してください。

※学会の場合は「国内学会/国際学会」「学会名」「口頭発表/ポスター発表」「発表タイトル」「発表年月日」「場所」「査読の有無」を書いてください。

2026年11月までの実績をすべて記入してください。誌名等の詳細は下の詳細欄に箇条書きで書いてください。このページが抜けている場合は選考対象外。

例） 国内学会、「学会名」、ポスター発表、「発表タイトル」、2026年9月6日、仙台、査読なし

【経営系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の実績がある人は、箇条書きで書いてください。
実績がない人は「なし」と書いてください。
実績がなくてもこのページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。

願書記入日以降～2027年の予定を記入してください。学会の場合は「応募中か採択済か」、論文の場合は（投稿予定）と書いてください。（投稿を予定している年月も書くこと）

例1） 国内学会、「学会名」、口頭発表、「発表タイトル」、2027年2月14日、大阪、査読あり（応募中）

例2） 名前1、名前2、「△△についての検討」、査読なし（2027年1月投稿予定）

【経営系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の予定がある人は、箇条書きで書いてください。
予定がない人は「なし」と書いてください。
予定がなくてもこのページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。